がん研究会　情報公開文書

単施設研究用

IRB番号「2023-GB-133」

研究課題名「エピゲノム異常を標的とした新規膵がん治療戦略の開発」

１．研究の対象

がん研究会がん研有明病院で外科的切除を施行された、浸潤性膵管癌をはじめとする膵原発の腫瘍症例

２．研究の目的・方法

これまでに申請者は、腫瘍間質細胞のCAF化にはゲノム上のペリセントロメアの反復配列領域（サテライトII DNA領域）におけるクロマチンの構造変化とその領域から転写されるnon-coding RNA（サテライトII RNA）の発現が重要であることを報告してきたが、膵がん細胞においても老化CAFsと酷似したクロマチン構造を呈し、サテライトII RNAを高発現することを見出している。この染色体構造の異常とサテライトII RNAの高発現は、がんの悪性化を促す炎症性遺伝子群の発現と染色体不安定性を誘導することから、膵がん細胞でもCAFsと同様に、より悪性形質の獲得に寄与していることが示唆されている。そこで、膵がん細胞と老化間質細胞でおこるサテライトII DNA領域のエピゲノムの異常とサテライトII RNAの発現を膵がん患者組織を用いてそれぞれDNA-FISHとRNA-ISHで検出することで、サテライトII RNAを標的とした核酸医薬のコンパニオン診断法を構築することを目的としている。

３．研究期間

承認日　～　2025年03月31日

４．研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。
情報：病歴、治療経過等
試料：ホルマリン固定パラフィン包埋組織検体

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人　がん研究会有明病院
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号
研究責任者　細胞老化研究部　部長　高橋 暁子
連絡先：電話番号03-3520-0111(代表)　FAX番号03-3520-0141

研究責任者：

公益財団法人　がん研究会有明病院
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号
研究責任者　細胞老化研究部　部長　高橋 暁子
連絡先：電話番号03-3520-0111(代表)　FAX番号03-3520-0141